

2. 学校長挨拶

学校長 磯橋 文秀

大阪医療技術学園専門学校

医師、医学博士（大阪大学大学院医学研究科卒）

滋慶医療科学大学院大学 前教授 前図書館館長

大阪医療技術学園専門学校の建学・教育の理念の第一は「実学教育」、なかでも超高齢者社会がもっとも必要とする良質な医療・福祉および保健・健康を支える知識・技術を実践的に伝授することにあります。

しかし、努力を重ねて習得した折角の知識・技術も、豊かな「人間性」の裏打ちに欠けていますと宝の持ち腐れとなり、特に医療・福祉・保健・健康の世界でサービスを求める人達に十分に役立たせることはできません。ここに、人間性の涵養すなわち、「人間教育」を教育の第二の柱としている所以があります。さらに、日進月歩する医学・医療・福祉および保健・健康の世界には国境はありません。それぞれの分野の先進国から良いものがあれば積極的にどんどん取り入れ、取り込むことが必要です。医療・福祉・保健・健康技術のスペシャリスト、エキスパートを目指す学生諸君は、誰にもまして、世界を見渡し、広い視野に立って、在学中から研鑽を積むことが必要です。本校では建学以来、「国際教育」を教育理念の第三の柱として参りました。

具体的には、アメリカ合衆国、中華人民共和国等に信頼できる多数の海外提携校が確保され、海外研修、留学、学術交流、新しい教育方法の導入等、国際教育のための基盤・環境が整備されています。また、平成23年度から滋慶医療科学大学院大学の設置が認められ、日本で初めての医療安全管理学修士の教育を行うこととなり、卒業後の更なる発展も期待できます。さらに、平成26年度から、本学園は「職業実践専門課程」が各学科で認められ、輝かしい発展を遂げています。

専門学校の任務は、職場で「即戦力」として役立つ知識・技術を習得した優れた人材を社会に送り出すことにあります。大阪医療技術学園専門学校では、学生諸君が「専門士」の称号、「臨床検査技師」「はり師」「きゅう師」「言語聴覚士」などの国家資格を始めとする各種の資格を取得するよう指導する最小限の要求に応えることに加えて、職場での将来的なニーズの進化に対応できる潜在能力（基礎学力）を日常的に養うことをも教育目標としています。努力と創意工夫を凝らして、これらのニーズを両立させることが学校と学生諸君との双方に課せられた課題と言えましょう。

大阪医療技術学園専門学校には、具体的かつ確固とした理念の下に学生諸君の指導に努め、社会的に高い評価を勝ち取っている数少ない医療系専門学校の代表校としての実績があります。医療技術を通じて社会に貢献することを志す若さと気力に溢れて本校に入学された諸君！私ども教職員と力を合わせ、健康で、豊かで、人にやさしい社会作りに向けて前進しましょう。

学 校 の 沿 革

昭和 53(1978)年	大阪薬学専門学院を設立し、薬の街・大阪で薬業人養成の学校としてスタート。
昭和 54(1979)年	大阪府知事の認可を受けて財団法人大阪医療技術学園を設立し、医療人の養成も開始。臨床検査技師養成学校として、厚生労働大臣の指定を受ける。
昭和 55(1980)年	全国にさきがけ、医療秘書科を設置。専門学校医療秘書教育の雄となる。
昭和 56(1981)年	大阪薬学専門学院と大阪医療技術学園臨床検査技師科並びに医療秘書科を統合し、医療業界の期待を担って学校教育法に基づく専修学校として大阪医療技術学園専門学校を設立。
昭和 61(1986)年	生命工学技術科を設置し、科学技術の分野の専門教育にも着手する。
昭和 62(1987)年	大阪医療技術学園専門学校より生命工学技術科を分離し、学校法人大阪滋慶学園大阪ハイテクノロジー専門学校設立。
平成元(1989)年	医療業界の情報化に対応すべき人材養成の目的で、医療情報処理科を設置。
平成 6(1994)年	医療と福祉の橋渡し役を担う人材養成の目的で、医療福祉科を設置。
平成 7(1995)年	付加価値の高い人材養成並びに生涯教育の一環として専攻科及び医療専攻科設置。
平成 9(1997)年	大阪医療技術学園専門学校より医療福祉科を分離し、学校法人大阪滋慶学園大阪保健福祉専門学校設立。
平成 10(1998)年	医療・保健・福祉を連携できる人材養成の必要性により、「教育・社会福祉専門課程」を設置し、児童福祉科、医療福祉心理科を設置。
平成 13(2001)年	福祉系分野で活躍する人を対象に、健康で明るく美しくなることの指導者を養成する目的で、健康美容福祉科を設置。
平成 14(2002)年	化粧品の成分や効果を理解し、美容と健康に貢献する人材養成を目的として、薬業科にビューティーアドバイザーコースを設置。
平成 15(2003)年	東洋医学を学び、医療・福祉・健康・美容・スポーツなどの分野で活躍する人材養成を目的として、鍼灸師学科を設置。医療分野での心理的相談援助に重点を置くため、医療福祉心理科を医療心理科に名称変更。
平成 18(2006)年	言語や聴覚に障害のある人々の言葉のリハビリテーションを行い、医療・福祉分野に貢献する人材養成を目的として、言語聴覚士学科（昼間部）を設置。さらに、東洋医学分野での鍼灸師の育成・指導を担当できる教員を養成するため、東洋医療技術教員養成学科を設置。
平成 20(2008)年	東洋医学と健康・美容分野を融合した医療人育成を目的として、鍼灸健康美容学科を設置。医療業界のIT化に対応しうる人材育成のため、医療秘書科を医療秘書・情報学科に名称変更。さらに薬事法改正による登録販売者認定資格を目指すため薬種商科を薬業科（夜間1年制）に名称変更。
平成 21(2009)年	公益法人制度の改革にともない、大阪医療技術学園専門学校の設置母体を「学校法人大阪滋慶学園」に移管。
平成 23(2011)年	社会人・大学卒業者の高度医療人材育成を目的として、言語聴覚士学科（昼夜間部）を設置。学校法人大阪滋慶学園にて、日本で初めての医療安全管理学修士課程を設置した滋慶医療科学大学院大学を開校。
平成 25(2013)年	学校法人大阪滋慶学園にて、鳥根県出雲市と公私協力による出雲医療看護専門学校を開校。
平成 27(2015)年	学校法人大阪滋慶学園にて、鳥取市と公私協力による鳥取市医療看護専門学校を開校。
平成 30(2018)年	学校法人大阪滋慶学園にて、岡山県美作市と公私協力による美作市スポーツ医療看護専門学校、滋慶学園高等学校を開校。